



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年 4月 6日
第 4 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」		
◎ 集団生活における責任感と自主性を養う		
◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う		
◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

大切にしたいこと

1 教職員の仕事の仕方 = 大切にしたい3つの視点

- 生徒の様子や変化、教師自身の客観的な自己変容に敏感
理論や経験に基づく、構造化された指導の技術
指導や指示、検討、要望への回答の基（法・通知・論・通説等）.....

**感性
スキル
根拠**

「感性」がなければ、血の通わない冷たい教員、と思われる
「スキル」がなければ、技術がなく実力のない教員、と思われる
「根拠」がなければ、考え方や一貫性のない教員、と思われる

「感性」：情熱・愛情・客觀性・効果性・効率性・感覺 等
「スキル」：S S T・指導技術（教科・全体指導等）・特別支援 等
「根拠」：法律・通知・教育論・客觀的一般的学説・○○学 等

2 何のためかを見失わない = 手段と目的の明確化

(例) 数学の一次方程式の解き方

本来 ⇒ 目的：順序立てて計画的に物事を処理し、構造的な思考を身につける

手段：等式の性質、移項を学び、1次方程式の解き方を理解する

But ⇒ 目的：等式の性質、移項を学び、1次方程式の解き方を理解する

手段：全員一斉に同じ宿題で家庭での演習など・・・

*このタイプの勘違いが、非常に多い

*理解できている生徒はやる必要はない（わからない生徒の個々に合わせた補充）

◎手段を目的化しない

◎目的是「自主・自律」「協働・共生」「創造・挑戦」

これからの学校教職員に必須の意識・・・

「感性」「スキル」「根拠」の意識

「目的」を意識し、「手段」を目的化しない意識